

あ と が き

編集顧問

糸 満 盛 憲
越 智 隆 弘
小 野 啓 郎
菊 地 臣 一
黒 坂 昌 弘
清 水 克 時
高 岸 憲 二
竹 光 義 治
富 田 勝 郎
戸 山 芳 昭
内 藤 正 俊
守 屋 秀 繁
矢 部 裕
山 室 隆 夫

編集主幹

土 屋 弘 行
編集委員
金 谷 文 則
黒 田 良 祐
仁 木 久 照
松 本 守 雄
松 山 幸 弘
山 本 卓 明
吉 川 秀 樹

オンライン投稿

ID : rinseige

パスワード : rinseige

今回、誌上シンポジウムとして「膝前十字靱帯のバイオメカニクス」が取り上げられた。私の専門は脊椎脊髄外科であるが、門外漢の私にとっても大変興味深い内容になっている。ここまで進歩したかと驚きを隠せない。脊椎脊髄手術との大きな違いは、ほぼ正常な可動域や筋力、安定性が保てるような再建術が可能となっている点である。私が研修医になったのは1987年で、すでに30年が経過しているが、卒業した当事を思い出すと、まだ膝の関節鏡がやっと始まった頃で、とても前十字靱帯の再建術などできるような時代ではなく、半月板縫合がやっとであったように思う。このシンポジウムを読むといかに膝機能解剖学の進歩やバイオメカニクス、そして受傷機転をmodel based image matching 法などを用いての評価解析が進み、正常機能を持った膝前十字靱帯が再建されているかがよく理解できる。

これまでスポーツ選手の中でこの膝前十字靱帯損傷を負って引退を余儀なくされた方も多い。野球ではあの清原選手も膝前十字靱帯損傷から引退への道をたどったのは記憶に新しい。今回のシンポジストは、皆さん多くのトップアスリートの治療を手がけているスペシャリストばかりであろう。こだわりの文章の中から伝わってくる。いかに正常機能に近づけた膝前十字靱帯を再建できるか、これはトップアスリートの運命を左右する大きな因子であることには間違いはない。

私もトップアスリートや、プロスポーツ選手の腰椎椎間板ヘルニアや分離症、分離すべり症を治療することがある。椎間板ヘルニアに対する治療はMISでできる限り侵襲を少なくして現役復帰させることは可能であるが、残念ながら分離すべり症に除圧術だけで対応すると長持ちしないので、除圧固定術が必要となることがある。プロゴルファーで、いつも300ヤード以上飛ばすことが可能な選手に固定術ではなんととも情けない。

今年8月頃には腰椎椎間板ヘルニアに対して手術ではなく、化学的融解術がコンドリアーゼ(ヘルニコア®)によって可能となる。まさに患者にとっても脊椎外科医にとっても朗報である。今後は分離すべり症や脊柱変形に対しても可動性を持った脊椎を再建できるよう夢を追って精進したい。

(松山幸弘)

臨床整形外科 (第53巻第7号)

2018年7月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 本体2,600円+税

2018年 年間購読料(送料弊社負担・本体価格)

冊子版 28,080円+税

冊子+電子版/(個人) 33,080円+税

電子版/(個人) 28,080円+税

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金 原 俊

住 所 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電 話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・前野)

販売部直通 (03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693 番

印 刷 所 株式会社アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込 株式会社医薬広告社 電話 (03)3814-1971

表紙デザイン ミスター・ユニバース株式会社

レイアウトデザイン 有限会社ベシック

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2018. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** (出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「臨床整形外科」は株式会社医学書院の登録商標です。